

小笠原ヨットレース2017 通信規定

レース参加艇は、動静把握等のため以下の要領に従い、適切に運営すること。

1. 通信設備

- 1-1 実行委員会より貸与したスラヤ衛星携帯電話(以下、スラヤ携帯)を使用する。
- 1-2 状況に応じて、登録された地上携帯電話(以下、携帯)および国際VHF無線(以下、VHF)を使用する。

2. 通信の確立

レース参加艇は、スタート前1時間からフィニッシュ後1時間まで、常時通話可能な状態を維持すること。

3. 通話テスト(ラジオチェック)

以下の方法により、通信機器の動作確認テストを、『別紙-1 通話テスト手順』に基づき行う。

3-1 スラヤ携帯

- (1) 三崎レース本部スラヤ携帯から、参加艇のスラヤ携帯に電話する。
- (2) 参加艇スラヤ携帯から、三崎レース本部のスラヤ携帯に電話する。

3-2 VHF

- (1) レース本部 VHF より、72ch にて、参加艇にコールを行い、ラウンドロビンにて参加艇から次の参加艇にコールし、最後の参加艇はレース本部へコールして終了する。

3-3 携帯①&②

- (1) レース本部より、参加艇の携帯①に電話する。
- (2) 参加艇携帯①からレース本部の携帯に電話する。
- (3) 三崎レース本部より、参加艇の携帯②に電話する。
- (4) 参加艇携帯②から三崎レース本部の携帯に電話する。

4. 指定時刻の情報記録

指定時刻に自艇の情報を記録し、定時ロールコールにその情報をレース本部に報告すること。

指定時刻と記録内容、『別紙-2 定時刻記録フォーム』を参照。

(1) 指定時刻

- ① 1回目 :5月2日(火) 20:00
- ② 2回目以降:5月3日(水)以降、毎日08:00と20:00とし、フィニッシュまで継続する。

(2) 記録内容(記録する情報)

- ① セイル No.と艇名
- ② 位置(緯度・経度): 〇〇度.〇〇分ノース、〇〇〇度.〇〇分イースト
- ③ 艇速(SOG)、ヘディング(COG)、風向、風速、波高
- ④ 乗員・艇体の様子、その他(故障など)

5. 定時ロールコール

下記、指定時刻から、4項に基づき指定時刻に記録した情報を三崎レース本部に報告すること。
本ロールコールは、フィニッシュまで継続する。

(1) 使用する通信設備 : スラヤ携帯とする。

※衛星携帯は、通話遅延が約2秒あります、双方向通話は一呼吸おいて会話して下さい。

(2) 指定時刻 : ① 1回目:5月2日(火)20:10開始

② 5月3日(水)以降、毎日08:10と20:10開始

(3) ロールコールの順番:『別紙-3 ロールコール手順』を参照

6. ロールコールの成立

指定時刻によるロールコールが完了しなかった場合、速やかに次回ロールコール時刻までに、全ての通信設備を利用して三崎レース本部に連絡すること。尚、VHFによる中継を依頼された艇は、それに応じること。尚、ロールコールが完了しなかった場合、ペナルティーを科すことができる。

7. 海上保安庁への搜索要請

12時間連絡が取れない場合、当該艇の自動位置通知装置(自動トラッキングシステム)による位置情報および緊急連絡先に連絡し協議の上、要請する場合がある。

8. フィニッシュ前コール

フィニッシュする艇は、フィニッシュ2時間前に、スラヤ携帯、携帯またはVHF(CH72)にて、レース本部に、『別紙-4 フィニッシュ予告連絡』に基づき、連絡すること。

9. リタイアの通報等

レース本部に通報し、最初の港に入港するまでロールコールを継続、且つ、入港後速やかにレース本部に報告すること。尚、全ての通信設備は常時通話可能な状態を維持すること。(レース本部より、安全の観点から連絡する場合がある)

《レース本部への通報内容》

- ① リタイアした日時
- ② 場所 (緯度・経度)
- ③ 理由および原因
- ④ 乗員および艇体の状態 (異常の有無など)
- ⑤ 予定する避難港名
- ⑥ 避難港への到着予定日時

10. 位置情報の提供

ロールコールで収集した各艇の位置情報は、公式ホームページで公開することがある。
尚、参加艇には、スラヤ携帯により、ロールコールによる各艇の位置情報を通知する予定です。

11. 非常時通信

- (1) 乗員、艇体などに異常事態が生じた場合、すべての通信手段を用いて、連絡を行うこと。
- (2) 一番近くにいるレスキュー艇は、参加艇です。
参加艇は、スラヤ携帯、VHF（CH16/CH72のデュアルワッチ推奨）、携帯等にて緊急通信を受信した場合、速やかに、出来る限りの対処を行うこと。
- (3) 緊急事態に対処するため、レース本部から全艇に対して救助・支援要請を行う場合があるので、スラヤ携帯等全ての通信設備（VHF、携帯、衛星携帯など）は、常に受信できる様にしておくこと。

※スラヤ携帯およびレース本部携帯は24時間ワッチしているが、話中などで接続できない場合は、時間を空けてから再度通話すること。

－以上－
小笠原ヨットレース2017
レース委員会